

鶴瀬西交流センター 開設20周年!



～ 今月の特集 ～
桃の節句
うれしいひなまつり

つるせ西だより

第210号 (3月号) 2026.3.1

編集: 鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行: 富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬 3575-1 TEL: 049-251-2791 FAX: 049-255-9707

地域の百景 80



相鉄線などで藤沢市まで直通運転

鶴瀬駅から直通でどこへでも

昨年の当欄で鶴瀬駅の歴史を取り上げましたが、今回は同駅の「今」について書かせていただきます。鉄道駅は街の玄関口としての機能を持つだけでなく、駅前〇〇という言葉が表すようにその地域の顔としての側面もあります。近年は隣駅などと比べて埋没した感のあった鶴瀬でしたが、駅周辺の区画整理の進捗や大型商業施設の開業等に伴い、街のかたちも大きく変わっております。

鶴瀬駅の乗降客数は一日4万5千人近くで、東上線47駅中11位です。その昔「通勤地獄」と言われた時代と比べれば、隣接駅の開業や在宅勤務の増加などで混雑率も多少改善傾向にあるように感じられます。

また、現在相互直通運転の編成が三分の一を超え、利便性は格段に向上しています。東京メトロの線経由で都心や横浜・藤沢方面まで乗り換えなしで向かうことが出来る時代になりました。春が来て、鶴瀬駅からどこかどこかかけたくなる今日のこのころです。

(撮影・文/出井)



多くの路線が乗り入れるようになりました

まちかどウォッチング 待ち遠しい再開

平成17年(2005年)に開設し昨年20周年を迎えた鶴瀬西交流センターでは、令和7年10月27日から令和8年3月19日まで大規模な外壁・防水工事等が行われています。施設には交流コーナーや会議室、美術工芸室、陶芸室、調理室、多目的ホールなどがあり、地域の交流や各サークル活動、さまざまなイベントが開催できます。

また、施設内に併設されている子育て支援センター「ぴっぴ」では、授乳室を備え、就学前の子どもを持つ親子が自由に利用でき、子どもの成長や情報交換、参加者同士の交流、育児相談も行っています。



床の張替え工事中のぴっぴ

西交流センターではいろいろな活動を通して幅広い年齢層の方が利用され、地域の交流やふれあいづくりの場所として活用されています。

再開が待ち遠しいですね。いろいろな変化や発見があるかもしれません。楽しみにしています。

(井之川)